

令和5年 安曇野市版環境家計簿 集計結果

1. 目的

「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の推進に関連し、エネルギー消費に係る二酸化炭素排出量の把握と、市民への普及啓発を目的として実施した。

2. 対象者

市内在住の世帯

3. 調査方法

郵送、メール、ながの電子申請サービスにより調査票の送付や回収を行った。

4. 調査項目

- (1) エネルギー消費量（電気・LPガス・灯油・ガソリン・軽油の使用量）
- (2) 省エネについて日頃取り組んでいること

5. 調査期間

令和5年1月1日～12月31日

6. 回答世帯数・世帯の概略

- (1) 世帯数：69世帯
- (2) 世帯の平均人数：2.3人（1人～9人）
- (3) 住居の種別：一戸建て 65世帯／アパート 4世帯
- (4) 自動車の平均保有台数：ガソリン車 2.2台／軽油車 0.3台

7. 調査結果

今回の集計結果について、エネルギー源ごとの1世帯あたりおよび1人あたり温室効果ガス排出量を前回集計結果と比較すると、表1のとおりであった。

表1 エネルギー源ごとの1世帯あたりの温室効果ガス量の比較

エネルギー源	温室効果ガス排出量(単位：kg-CO2)					
	1世帯あたり(R4)	1世帯あたり(R5)	増減(R4→R5)	1人あたり(R4)	1人あたり(R5)	増減(R4→R5)
電気	2746.1	2516.2	-8.37%	905.8	803.8	-11.26%
LPガス	438.7	487.6	11.15%	144.7	155.8	7.65%
灯油	1381.2	1280.2	-7.31%	455.6	408.9	-10.24%
ガソリン	2104.8	2061.3	-2.06%	694.2	658.5	-5.15%
軽油	279.0	253.4	-9.18%	92.0	81.0	-12.04%
合計	6949.8	6598.7	-5.05%	2,292.3	2,107.9	-8.05%

今回の集計で採用した温室効果ガス排出係数は、表2のとおりである。過年度分集計結果との比較のため、平成25年度より変更していない。

表2 温室効果ガス排出係数

エネルギー源	排出係数	エネルギー源	排出係数
電気	0.516 [※]	ガソリン	2.3
L Pガス	6.2	軽油	2.6
灯油	2.5		

※環境省報道発表資料による (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17532>)

なお、「第一次安曇野市地球温暖化対策実行計画」では、電気、L Pガス、灯油の合計を民生家庭部門として計算している。今回の同じ項目の合計は、4.28t-CO₂であった。実行計画に掲載されている平成20年度（2008年度）の排出量推計結果（3.12t-CO₂/世帯）と比較すると、1世帯あたりの排出量は約1.4倍に増加している。

表3 1世帯あたり排出量の前回推計結果との比較

増減率以外の単位：t-CO₂

実行計画策定時推計 (H20年度)	前回 (R4年)	今回 (R5年)	増減率 (H20→R5)
3.12	4.57	4.28	37.2%

また、今回の調査で寄せられた、省エネに関する取り組みは以下のとおりであった。

- 重ね着をする。エアコンの温度設定見直しと運転時間短縮。
- 夏場は出来るだけ外出して、自宅のエアコン etc を使用しない様にした。冬場は出来るだけ服等で調整して、暖ボウを極力使用しない様にした。
- 冷暖房器具を使用する部屋数を減らして過ごした。
- 去年は残暑が厳しくエアコン使用が増えたため電力は少なくする事が出来ませんでした。今は凍結防止帯、照明、テレビなどこまめに消す事を心がけています。
- 30分以上作業場を離れるときは冷暖房をきった。
- 冬のエアコンの温度は低め（18℃）に設定。
- エアコンが古かったため、3月より性能がよいものに買い換えた。
- 2023年2月に冷蔵庫を更新しましたが、その後（3～12月）の我が家の電気の使用量が前年の同時期に比べ、29.4%少なくなりました（天候の影響を含みます）。
- LEDへの移行、電気製品の老朽状況の把握等で節電を意識しております。
- 単なる情報とりの場合などは、大型TV（37）より小型TV（24）を活用する。
- 1部屋の電気はこまめに消す、2風呂はつけて入る、3窓にシートを張る。1、2は効果がわかりにくい、3は体感できていい。
- 深夜電力があるので充電等はなるべく11時以降に使用してました。
- 電気契約をAUデンキからループ電気に変更。
- 太陽光パネルを設置している為、日中（午前中～夕方16時頃まで）になるべく洗濯機や食洗機、調理を行うようにしていた。時間帯別で発電（売電）量が買電量を上回り、電気料金の大幅な節約に繋がった。
- 国の節電プログラム促進事業に参加して指定日の指定時間に電源抜いたり照明をつけない努力しました。台所にマット敷き寒さ対策し電気マットをやめました。灯油ストーブの上にやかん置き部屋の温度15°になったら切り、湯タンポに入れ、湯タンポにバスタオル巻き、椅子式こたつに入れて暖を取り省エネしました。
- 暖房に「あんか」入れたりストーブからコタツにホースで暖をとったりしております。
- お湯を沸かす時は、必要分だけを熱効率の良い電気ケトルを使用するようにする。保温可能な電気ポットは使用を中止した。
- ガス利用時は、同じコンロで続けて調理した。ガス使用量が減った。午後は早目にカーテンを閉めて、室温が下がらないようにした。
- 石油ファンヒーターよりも石油ストーブを使うようにしています。石油ストーブは電気を使いませんし、やかんでお湯がわかれます。
- 太陽光温水器の利用は非常に有用です。夏場のお風呂はガスは不要です。
- 冬場は、エアコンで暖房を使わず、灯油ストーブ+サーキュレーターにしました。お風呂は少なめのお湯の量で、ガス、水道の節約をしました。
- 洗濯物は着たらではなく、汚れたら。
- 節水のシャワーヘッドに変えた。
- 車をエコカーにした。（車の燃費がリッター18から27になりました。）